



砂の需要は、ガラスやコンクリートなどの建設資材だけでなく、光ファイバー、携帯電話、PCなどの製造に欠かせない原料にもなっている基礎資材。砂を含む骨材資源の製造は中小企業が多く、事業の存立には碎石・骨材資源、機械装置類の投資・稼働、人材・経営管理などの内部要因および建設市場、顧客・利害関係者などの外部要因が複雑にからみ合っている。

本ワークショップ“**碎石・骨材製造事業革新ワーキンググループ発足と参画のすすめ**”では経営のかなりの本音部分の経営数値・ノウハウ等の共有により、碎石・骨材製造事業革新の促進をめざします。**碎石・骨材製造事業に関与する製造・物流・機械装置・工事・IT・金融機関等の参画をお待ちしております。**

【日時】2024年7月30日(火) 18:30~20:30 【受講料】無料【定員】ZOOM配信により設けず
 【主催・問合せ】経営技術コンサルタント協会(略称MTCA) (担当:長谷 080-5338-2331 [メール in@en2.jp](mailto:in@en2.jp))
 【カリキュラム】

☆はじめに

1. 砂をめぐる世界及び日本の動向・市場環境
2. 碎石・骨材製造事業の経営課題:人材・働き方、設備更新、IT・DX、物流、環境等
3. 骨材製造事業革新取り組み例の紹介:

非デジタル産業におけるIT・DX省力化等

4. 補助金・助成金などの資金調達・活用のベースとなる経営革新の取組提案
5. 次回、ワーキンググループの予定:実在するモデル企業の紹介

【担当講師及びプロフィール紹介】

長谷 利男: 認定経営革新等支援機関 有限会社 えん総合研究所 代表取締役
 “えん”を社名に、“人・モノ・仕組・顧客づくり”に関する、総合コンサルティング、人材育成を展開。碎石・骨材製造業においては中長期経営計画、BCP(事業継続計画)、新分野進出、人材育成支援、ISO9001&14001 のマネジメントシステム構築指導等に注力。

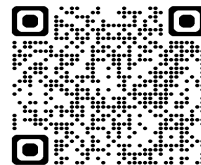


竹上 端一: 株式会社 デーシーイー 代表取締役
 日本セキュリティマネジメント学会 代議員 関西支部研究会 主査。日本経営工学会 関西支部 運営委員約40年。プラントメーカーで海外案件の電気計装設計に従事。8年前に産業機械のソフトウェア開発会社を設立し、遠隔監視システム等の開発設計請負。近年、製砂プラントの監視制御に関するDX化に取り組んでいる。



【お申込方法】

MTCA セミナー紹介 (QR コード) 又は本申込書に記入 FAX(072-682-8961)、メール(申込書ファイル添付)でお申し込み下さい。折返しZOOM配信アドレスを連絡いたします



講座名	碎石・骨材製造事業革新 ワーキンググループ発足と参画のすすめ		開催日	令和6年 7月30日 18:30 ~20:30
企業名			所在地 〒	
受講者	氏名	E-mail		
	役職	TEL :	FAX :	

【個人情報保護】経営技術コンサルタント協会では経営コンサルティング、社員教育等業務に関する情報をお知らせする目的で個人情報を保有。個人情報はセミナー受講券の発送等に利用します。又今後前述の目的にも利用いたします。